

集落や交流拠点の存続のため、オール水俣で再エネ導入を実現



発電施設の外観



発電施設の下流で
ヤマメ等を養殖



寒川水源亭

<概要>

- 事業実施主体：寒川水源亭（熊本県水俣市）
- 発電設備：小水力発電
発電出力 3.2kW
発電電力量 2.4万kWh/年
- 建設費：1,400万円
- 運転開始時期：平成28年2月

<特徴>

- 寒川地区では、湧水を利用したそうめん流し等を提供する『寒川水源亭』を住民主体で経営し、地域の交流拠点としていた。
- 過疎化・高齢化による、集落と寒川水源亭の存続の危機に対し、住民、水俣市、研究機関、地元事業者、地域金融機関等が協力して再エネ導入に取り組んだ。
- 住民自らが流量調査や工事を行い、九州大学と地元鉄工所が水車を制作したことで、建設費を当初の1 / 3に削減。
- 発電した電気は寒川水源亭で自家利用し、余剰分は売電。
- 寒川水源亭の収益は、施設の修繕や祭りの費用等、集落維持のために活用されている。